平成26年度発達障害に関する教員の専門性向上事業

世羅町立世羅小学校の取組

世羅町立世羅小学校

<学校概要>

平成27年1月21日現在

◆在籍児童数　379名
（通常の学級12学級，特別支援学級2学級）

◆特別支援教育の考え方を取り入れ，個別の指導計画及び授業での具体的な指導に反映。

◆学校が支援を要すると判断した
通常の学級の児童数14名
（個別の指導計画を作成済）

<校内体制>

平成27年1月21日現在

◆特別支援教育コーディネーター指名
◆月1～2回，校内委員会実施
→全校で共有すべき点は連絡会で周知
◆校内研修3回（うち2回は小中合同研修）
→授業観察後，支援方法の指導
◆巡回相談4回実施済
→授業観察後，担任が個別指導
◆スクールカウンセラー
→児童観察後，担任や保護者の相談，助言
◆町の教育相談員

1　学校全体の取組

①「世羅小スタンダード」の作成

◆集中して勉強する
環境づくりを全校で統一

②見通しを持たせる工夫

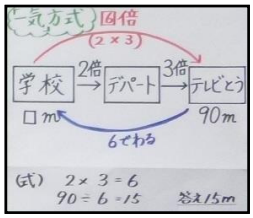
③自由発言の制限

2　授業実践報告（概要）

【授業概要】
◆算数科　第4学年（32名）
「何倍でしょう」
◆関係図を使って，「何倍になるか」を考えて求めることができる。
【学級全体の状況】
◆ 意欲的に問題解決をする姿勢をもっているが，図を使って考えたり言葉で説明したりすることに苦手意識をもっている。
【個の状況】
◆児童A･･･集中できる時間が短い。指示の聞きもらしが多い。
◆児童B･･･注意を向けることが難しい。
◆児童C･･･話の内容を理解することが難しい。

2　授業実践報告
（学級全体への支援）

①導入の工夫



・掲示物の活用
・動作化

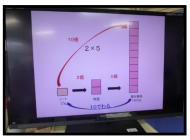
短時間で復習
効果的

２　授業実践報告
（学級全体への支援）

②視覚化

問題提示の工夫

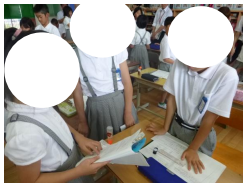
・問題文と挿絵を対応



・数量関係をイメージ

２　授業実践報告
（学級全体への支援）

③小集団活動

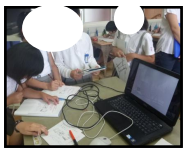


学び合い，教え合い

・より理解を深める

２　授業実践報告
（個への支援）

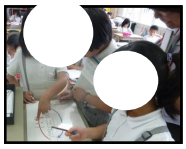
①ヒントカードの活用



数量関係のイメージ化

・パワーポイントの活用

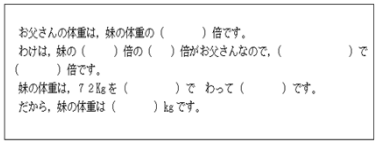
・関係図のかき方のヒント
（教卓の上に提示）



２　授業実践報告
（個への支援）

②ワークシートの工夫

説明するための手立て


お父さんの体重は，妹の体重の（　　）倍です。
わけは，妹の（　　）倍の（　　）倍がお父さんなので，（　　）で（　　）倍です。
妹の体重は，７２kgを（　　）で　わって（　　）です。
だから，妹の体重は（　　）kgです。

穴あきワークシートの準備

２　授業実践報告
（個への支援）

③座席表の工夫

個の特性に応じて

３　成果と課題

【成果】

○問題提示の工夫
○特性に応じた支援
○小集団活動による学び合い

【課題】

▲個に応じたヒントカードの活用
▲個の背景による支援策